

【施設効果事例】須川第1砂防堰堤(福岡県朝倉市)

○福岡県朝倉市須川では、豪雨により多数の斜面崩壊等が発生したが、既設砂防堰堤が土砂・流木を捕捉した。流木捕捉量は16,500m³(推定値、空隙込み)。
○これにより、下流の人家等への被害が軽減されたと推測される。



砂防堰堤下流の保全対象
(工場、人家 等)



須川第1砂防堰堤
堰堤高7.0 m、堰堤長74.8m

妙見川上流域

平成29年7月14日撮影

【施設効果事例】須川第1砂防堰堤(福岡県朝倉市)

写真は2枚とも(国研)土木研究所
土砂管理研究G 火山・土石流チーム撮影

須川第一砂防堰堤
下流から本堤を撮影



須川第一砂防堰堤
堆砂域に堆積した
流木を撮影



【施設効果事例】今道川砂防堰堤・木城砂防堰堤（福岡県朝倉郡東峰村）

- 福岡県朝倉郡東峰村では、平成29年7月九州北部豪雨により斜面崩壊が発生し土石流が発生。
- 今道川砂防堰堤・木城砂防堰堤がそれぞれ土砂・流木を捕捉し、人家等を保全。



九州地方整備局撮影



アジア航測（株）平成29年7月8日撮影

今道川砂防堰堤が
土石流を捕捉
公共施設2施設・
人家15戸等を保全

■施設諸元

堰堤高：14.0m
堰堤長：57.0m

(国土地理院HPより作成(<http://maps.gsi.go.jp/>))

アジア航測（株）平成29年7月8日撮影

木城砂防堰堤が
土石流を捕捉
人家2戸・消防団
施設等を保全

■施設諸元

堰堤高：12.0m
堰堤長：59.0m